

三島利徳さん講演会

農民文学と私

ー編集長7年を終えてー

「農民文学」の編集長を7年間務める中で、感動した作品や人との触れ合い、社会の変化についてお話しします。

【開催日】

5/11(日)

時間 14:00～16:00 (開場 13:30)

会場 塩尻市市民交流センター
(えんぱーく)

3階 多目的ホール

定員 130人 (先着順)

参加費 無料

農民文学編集委員 (前編集長)

三島利徳 (みしま としのり)

1947年下伊那郡豊丘村生まれ。村内小中学校、飯田高校から静岡大学人文学部卒業。信濃毎日新聞社入社。本社報道部、佐久支社、文化部デスク・部長、論説委員(社説や「斜面」を執筆)を経て2012年に退社。

2016年に「破天荒作家 山田多賀市と農民文学」で農民文学賞受賞。著書に「安曇野を去った男 ある農民文学者の人生」(人文書館)。2016年には、本の寺子屋で「本の魅力ー書評の功罪ー」と題して講演。現在は長野県カルチャーセンター「文章を書く」講座講師(通信制もあり)。長野看護専門学校「論理学」講師。長野市青木島町在住。



申込開始 4/13 (日)

申し込み方法

本館総合カウンター、メール、電話(0263-53-3365)のいずれか。

メールの場合は次の内容をお送りください。

宛先 tosho@city.shiojiri.lg.jp

件名 「5/11 本の寺子屋申込」

本文 1 参加者全員の氏名(フリガナ)

2 代表者電話番号

3 お住まいの地区

4 この講演会を知ったきっかけ
(広報、チラシなど)